

ほおづえ

第3号

<< 内 容 >>

- ・同窓会3年目に際して
- ・アンケート結果の報告
- ・「ほおづえ会に対するアンケート」についての意見
- ・懇親会（バーベキュー）
- ・講演会
- ・インターネットって
- ・建築学科から
- ・ほおづえ会から
- ・編集後記

■ 同窓会3年目に際して ■

ほおづえ会副会長 宮川浩志（3期）

平成6年9月23日にスタートしたほおづえ会も3年目を迎えました。

昨年の会長のあいさつの中で、2年目はステップの年ととらえ具体的な組織固めとコンセプトづくりの年にしたいとありました。しかし、本部執行部の努力不足もあり、まだまだ不備な点の多いのが実情です。そこで、組織固めとコンセプトづくりにもう1年かけさせていただきたいと思います。

平成7年度総会の動議に会ったアンケートの結果をふまえ、ほおづえ会の体制を整えるために少しずつ不備な点を解消し、より参加しやすい同窓会になるよう議論を重ねていかねばならないと思います。

まず今年は北陸支部の設立に向けて準備を進めています。北陸支部の設立により、本部組織を一部変更して会員相互の親睦をはかる機能を支部へ移行し、会員間のコミュニケーション作りは支部単位で進めていければ良いと思います。20歳以上の年齢差のある会員相互の親睦をはかることはなかなか難しいことで、とくに若い世代の人たちにとっては自分の親に近い先輩との交流は少なからず抵抗のようなものがあるとあります。また、今は先輩や後輩とのコミュニケーションに関心はなくても、いつかはなんらかの繋がりがや情報が必要になるときが来ると思います。そんなときに役に立てる同窓会で有ればよいと思います。

縦の繋がりをつくるためには、まず横の繋がりが大切だと思います。このほおづえ会を媒体にして、同期のクラス会から初めてみてはどうでしょうか。久しぶりに会う友との話の中からあの先輩、この後輩といった話題がでたときに同窓会が役立てると思います。

ほおづえ会としての明確なコンセプトの提示もまだできていませんが、皆さんのご意見を聞きながらよりよい同窓会となるように努めたいと思います。

時節柄、0-157といったような悪性の食中毒が発生する時期でも有り、会員の皆さんにあっては健康に留意され、ますます発展されることをお祈りいたします。

■ アンケート結果の報告 ■

ほおづえ会に対するアンケートの回収結果です。

○ 名簿に関する質問

質問1 あなたは、名簿は何年ごとに発行すればよいと思いますか。

1. 毎年(30.1)
2. 2年毎(27.2)
3. 3年毎(26.6)
4. 5年毎(9.2)
5. その他(6.9)

質問2 あなたは、名簿に広告を載せることに賛成ですか反対ですか。

1. 賛成(61.8)
2. 反対(27.7)
3. その他(10.4)

質問3 あなたは、名簿を全会員に配付することについてどう思われますか。

1. 全会員に配布すればよい(19.7)
2. 会費納入者だけに配付すればよい(46.2)
3. 希望者だけに配付すればよい(32.4)
4. その他(1.7)

質問4 昨年発行の名簿には五十音別と現住所別の索引を添付してありましたが、今年の名簿には勤務先別の索引も添付しようと考えておりますが、勤務先別索引は必要でしょうか。

1. 必要(53.8)
2. 不必要(45.1)

質問5 昨年発行の名簿は、あなたの役に立ったでしょうか。

1. 役に立った(45.7)
2. 役に立っていない(9.2)
3. どちらでもない(45.1)

○ 活動に関する質問

質問6 あなたは、ほおづえ会のどのような活動なら参加したいと思いますか。

1. 見学会(12.3)
2. 講演会(16.2)
3. 勉強会(9.7)
4. 展示会(6.7)
5. ゴルフ大会(6.9)
6. ボーリング大会(3.6)
7. 麻雀大会(1.0)
8. パーベキュー大会(6.2)
9. 飲み会(11.0)
10. 学生との交流会(9.2)
11. 先生との交流会(11.3)
12. その他(5.9)

質問7 現在 関東・関西・東海の3地区で支部設立が進められていますが、北陸支部も設立し、各事業（例えば見学会・懇親会等）は本部が行うのではなく各支部で行い、本部は名簿・広報の発行と学校（高専）との連絡等を行えばよいという意見がだされています。あなたはこのことについてどう思われますか。

1. 早急に北陸支部を設立し各事業は各支部で行うようにすればよい(49.1)
2. まだ本部支部の関係を確立するのは早いのではないか(39.9)
3. その他(11.0)

質問8 今年度は総会を6月に行いましたが、遠隔地の方からは、6月ではなかなか参加できないので、総会の時期を変更してほしいという意見が出されています。あなたは、総会の開催時期をいつにすればよいと思われますか。

1. 5、6月（年度当初）(25.4)
2. 8月（お盆の時期）(53.8)
3. その他(20.8)

○ あなたに関する質問

質問9 卒業期数をお聞かせください。

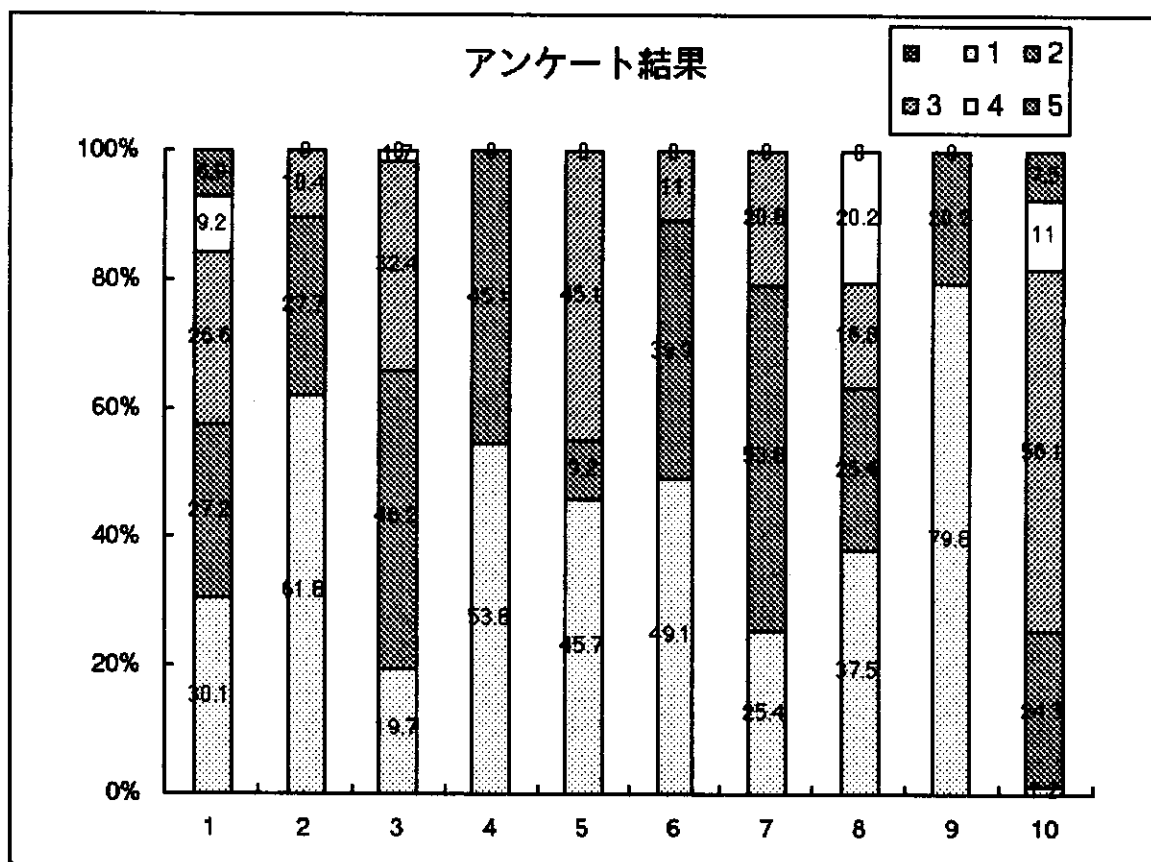
1. 1期～5期(37.6) 2. 6期～10期(25.4)
3. 11期～15期(16.8) 4. 16期～21期(20.2)

質問10 性別をお聞かせください。

1. 男(79.8) 2. 女(20.2)

質問11 あなたの現住所(地域)をお聞かせください。

1. 北海道・東北(1.2) 2. 関東(24.3) 3. 北陸・信越(56.1) 4. 東海(11.0)
5. 関西(7.5) 6. 中国・四国・九州(0.0)



多くの方々から、アンケートにお答えいただきありがとうございます。

みなさんの貴重な意見を参考にしてよりよい同窓会を作っていきたいと思っております。

今後の方針につきましては、平成8年度総会および広報第4号でお知らせすることになると思います。御了承ください。

■ 「ほおづえ会に対するアンケート」についての意見 ■

ほおづえ会に対していくつかの意見が寄せられています。

ここでは、今回のアンケートに対していただいた意見のなかから許可を得て掲載するものです。

■ 名簿に関して

名簿の発行に関しては、毎年行なうのが基本だと思います。また、配付に関しては、全会員を対象とし、どうしても要らないという人のみ配付しなければよいと思います。会費納入者のみというのは、名簿を商品として販売しているようなので同総会の趣旨に反しています。

名簿に広告を載せることも反対です。同総会名簿は、あくまでも我々同総生のためのものであって広告主のひもつきであってははいけません。名簿の発行にかかる費用の予算に定める割合が大きいのは、名簿が本会の中心的位置づけにあるものとして当然のことだと思います。財源は、広告によらず同窓生の寄付等によって確保し、寄付者の名前は別途広報等にて紹介していけばよいと思います。

■ 活動に関して

支部については、各地で設立されるべきであります。北陸支部についてはその位置づけを見極めてから設置すればよいと思います。支部は、石川からの遠隔地においての事務連絡や活動の拠点としての位置づけであり、北陸地区においては本部直轄の活動であっても、結果的に北陸地区の人たちの活動（もちろん北陸以外の人への参加もOKですが）になり、現段階ではとくに支部として分ける必要はないと思います。

また、会員からの会費が、全会員に還元されるように会費の使い方についても十分検討する余地があるのではないのでしょうか。

(A氏)

■ 同窓会について

同窓会を運営している皆さん本当に御苦労様です。

どの同窓会の話を書いても名簿の作成やイベントの段取り等が一番の手間のようなのです。

名簿の配付は全員配付でも構わないと思いますが、受け取った人は名簿の「対価」というものを一度考えていただきたいと思います。そのことを踏まえて考えると「広告を載せる」あるいは「寄付をいただく」ことによってコストを下げる事ができれば本当によいと考えています。

名簿は生ものです、とくに30才以下ではまだ移動が多いので毎年の発行をお願いいたします。

さて、同窓会に望むことは、(1)誰もが簡単に参加できる同窓会(2)上下(先輩・後輩)の連絡(情報)がスムーズに取れるような同窓会を作っていくことができないかということです。現在、学校においても、女子学生の増加、この氷河時代といわれる就職難などの多くの問題を抱えています。社会にできればで、わからないことを誰に聞けばよいのでしょうか？ そういう疑問を持った人に対しても同窓会というものを介した人脈みたいものが生かされればとも思っています。本当は若い人たちがこのことに気づいてどんどん同窓会に参加してくれればよいんでしょね。きっと

(B氏)

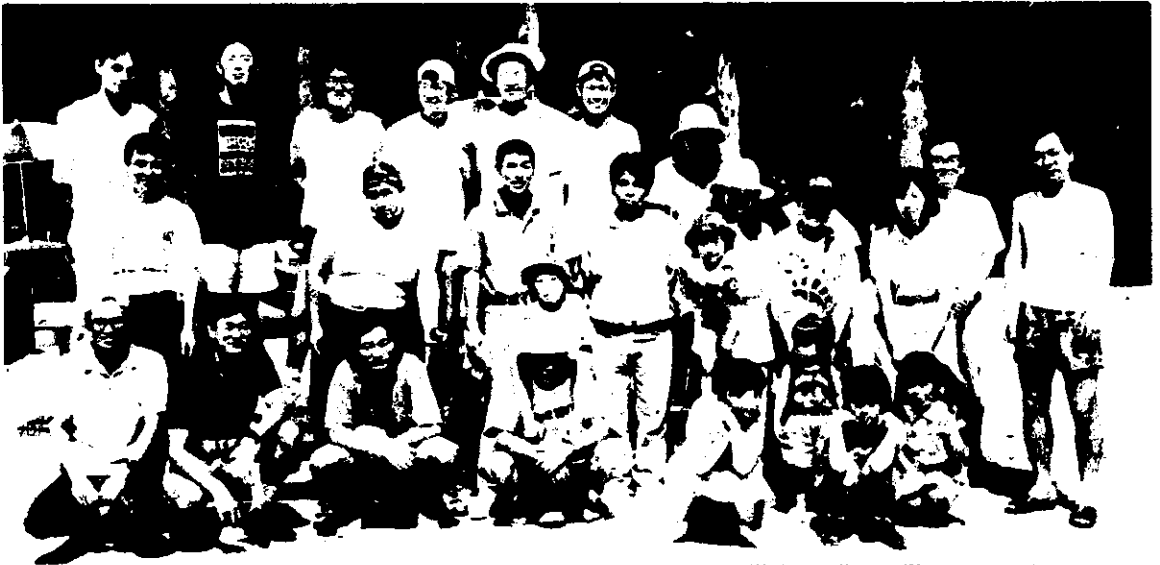
■ 懇親会 ■

平成7年8月13日、津幡の森林公園炊飯広場で懇親会（バーベキュー）が行われました。

お盆の忙しい時期にもかかわらず27名（子供を含む）の参加をいただきました。

遠くは東京・愛知からも参加していただいた方もいらっしゃいます。

当日は天候にも恵まれたというより、暑い夏の日差しではありましたが、久しぶりに会う人も多く懐かしい友人・母校の話題で和気あいあいと盛り上がりも 있었습니다。また、今回初めて家族での参加であったため、夫婦・家族での交流もあり、同総会の新しいひとつの型になるかも知れません。アトラクションとして、ビンゴゲームも行われ楽しい一時を過ごすことができました。



(参加者全員のスナップ)

■ 講演会 ■

講演会も昨年度に続いて、2月7日に視聴覚教室（図書館）において行なわれました。

パネラーは3名で、若本（旧姓林）美和氏（10期）、酒井治氏（4期）、吉田康弘氏（2期）、司会は、山内隆氏（4期）が勤めました。

とくに若本さんは、結婚後も現在の職場で高専の後輩の指導にも当たっており、女性の仕事に対する在り方をしめしており、女子学生も興味をもって聞いていました。



(左より、若本、酒井、吉田、山内の各氏)

■ インターネットって ■

昨年の終わり頃から「Windows95」と「インターネット」がキーワードになっているようです。これを読んでいる人の中にも、年末に思わずパソコンを買ってしまって四苦八苦した人があるのではないのでしょうか。しっかりパソコン使いこなせてますか？まあ、これは冗談ですけど。

といいながらも、私のまわりにもインターネットアドレス（電子メールアドレス）をもつ人がどんどん増えてきています。えー、こんな人が思うことでもあります、いま石川県内では5000人以上（学校関係を除いて）の人がインターネットに接続していると思います。日本全体ではどれくらいの方が「インターネット」に接続しているのでしょうか、本当に

では、その「インターネット」ってなんでしょうね？ 難しいことは専門の本に任せることにして、まず世間のイメージでは、WWW（World Wide Web）があまりにも有名になってしまった感じがします。それ以外にも電子メール（Electronic Mail: E-Mail）、NetNews（ニュース）、FTP（File Transfer Protocol）、Telnetなど、まだまだ多くのあまり知られていない機能がいっぱいあります。私が良く使っているのは、電子メール、ニュース、FTPの順になるでしょうか。

さてさて、「インターネット」で、何を知ることができるのでしょうか？

石川高専の情報は、次のURL（住所のような物）で知ることができます。<http://www.ishikawa-nct.ac.jp/> 国内の情報はもちろん海外のいろいろな情報も簡単に手に入ります。カルフォルニアの地震のデータも公開されています。ただし、英語ですけどね。検索してくれるホームページもいくつかできました。

サーチャーとよんでいます、キーワードを入れるとそのキーワードに関するホームページを探してきてくれます。「建築」なんていれたら大変なことになりそうですね。

もしかしたら、将来のコンピュータの在り方が変わってくるかも知れません。

いまは、まだまだ「インターネット」を使いこなすには色々な専門的な知識が必要なようです。

将来、電化製品のように簡単にデータを取りだしたりできる、身近な物になっているかも知れませんよ。

いまでも500ドルパソコンというものが話題にはなっていますが、...

○ 建築分野なら

建築分野のホームページを調べてみました。

実際はもっと多くの企業や団体があるわけですが面白そうなものを選んでみました。

建築基準法施行令	http://www.arc-s.co.jp/product/soft/archilaw/Welcome-jp.html/
大林組	http://www.ijnet.or.jp/obayashi/center/index.html/
震災文庫	http://www.lib.kobe-u.ac.jp/eqb/
ハザマ	http://www.super-nova.co.jp/hazama/
地震情報新聞	http://www.st.rim.or.jp/~amjack/index.html/
建築とパスタ	http://www.archiweb.com/gallery/pasta/index.html/
神戸震災における被災地報告	http://www.ecc.u-tokyo.ac.jp/~cc47730/6kobe/6kobe.html/
東京トイレマップ	http://www.asahi-net.or.jp/~AD8Y-HYS/index.htm/
いろいろなタイル	http://www.tttec.co.jp/tileshop/index.html/
旭硝子	http://www.agc.co.jp/
鹿島	http://www.kajima.co.jp/
構造計画研究所	http://www.kke.co.jp/
大建工業	http://www.dnp-sp.co.jp/51/daiken/index.html/
大成建設	http://www.taisei.co.jp/taisei_home.html/
竹中工務店	http://www.takenaka.co.jp/

真面目にさがせば全世界だときりがなかも知れませんね。

■ 建築学科から ■

○ あたらしいコンピュータシステムについて

建築棟の4Fに、広報2号でもお知らせしたように設計のためのコンピュータシステムが導入されました。コンピュータ（ハードウェア）は、シリコングラフィック社のインディゴ、APPLEのPM8500/120、東芝のWindowsマシンの3セットです。

これ以外にも、業務用のビデオレコーダーもあります。これを使うことによってビデオアニメーションを作成することもできます。

ソフトウェアも、業務用でもよく使われている下記のもが導入されています。

インディゴには、STIMAGE（モデラー、レンダー）、PM8500には、FORM-Z（モデラー）、Windowsには、AUTOCADがありました。

とくにSTIMAGEは建築設計のCG分野では、定評があり使い方によってはかなり高度なことまでできます。（企業によく導入されています）

建築学科は、以前からMACのシステムを導入していましたので、CAD、ワープロ、プレゼンテーションのソフトも揃っていますので、今後の活用が楽しみです。（がんばらなあ、卒軒生は）このコンピュータのシステムに興味のある方は、垂井先生の方に御連絡をとってみてください。

○ 人事異動

転出	佐藤真奈美	大坂工業大学へ転出
新任	石渡博	講師

○ 新任教官の紹介

石渡 博（いしわた ひろし）

昭和26年生まれ 千葉県より単身赴任

専門は、「建築設備設計」

昭和47年より昭和59年まで民間企業において設備設計に従事

昭和63年3月 東京大学工学部建築学科卒業

平成2年3月 東京大学大学院工学系研究科修士課程建築学専攻修了

平成7年3月 東京大学大学院工学系研究科博士課程建築学専攻修了
東京大学より博士（工学）を授与

「集合住宅における給湯負荷・システム容量算定に関する基礎研究」
空気調和・衛生学会会員、日本建築学会会員

印象は、「森本レオ」に似た、物静かな人だそうです。

■ ほおづえ会から ■

○ 支部の設立について

関東支部

現在、伊藤信一郎氏（2期）を中心に準備が進められています。
準備委員会などの顔合わせも順調に行なわれています。

関西支部

現在、隅田忠志氏（3期）を中心に準備が進められています。

中部支部

現在、山本進一氏（2期）を中心に準備が進められています。

北陸支部

現在、吉田康弘氏（2期）を中心に8月18日の設立を目指して準備を進めています。

○ 住所変更等の連絡のお願い

本人の現住所が不明の方が多くおります。

本人および知人等の現住所および連絡先に関する情報をおもちの方は「ほおづえ会」事務局にお知らせください。なお、9月中には名簿を送付する予定です。

○ 原稿募集および依頼のお願い

広報「ほおづえ」の原稿を募集いたします。テーマは特に問いません。

また今後特集を組みそのテーマに関する原稿をお願いするかもしれません。

そのときはよろしく願いいたします。

■ 編集後記 ■

今回は、予定を大幅に遅れての配付になりました。懇親会や講演会からも大分経ってしまっていて、写真のありかを捜したり、思いだしながら記事を書いたので困ってしまいました。いつまでも記憶力はよくはないということを実感してしまいました。今期からは、名簿の作成時期が変わるため、第4号の発行は年末の予定です。第4号からは、広報委員会も顔触れを一新し、編集長も交代し新しい着目点でネタ集めをするようですので、期待してください。

広報委員長 三谷 創

平成8年6月30日印刷／平成8年7月発行

編集／発行 石川工業高等専門学校建築学科同窓会事務局

石川県金沢市石引1-7-16 金沢デザイン建築専門学校内

TEL0762-62-3645 FAX0762-22-9229

印刷所 田中昭文堂印刷（株） 石川県金沢市小坂町中75 TEL0762-62-7788